

令和5年度 施策評価シート

施策の大綱	3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上	評価担当者
基本施策	(3) 農林業の振興	産業環境部長 富田 真左哉
目指す姿	農林業の担い手が、効率的かつ安定した経営を行っています	
関連する分野別計画		

■SDGs

基本施策に関連するSDGsのゴール	    
SDGs推進の考察	これまでの農業振興の補助金に加えて、肥料価格高騰対策やエネルギー価格高騰対策中小企業者等支援事業の補助金の交付などにより、農業経営の安定化や持続的な運営の支援を行ったことで食料の安定確保に寄与できた。また、林業に関しては事業量の確保により林業事業体の経営の安定化が図られ、林業の担い手の育成に寄与できた。一方、市民農園や中山間地の資源を活用した活動により市内外の交流が行われるなどパートナーシップにより施策の推進を図ることができた。今後も、農林業者の経営が安定し、持続的な運営が図られるように補助金の交付を行い施策の推進を行っていく必要がある。

■関連する主な事業

(単位:千円)

施策の方向	事業名	上段:予算額	実績・成果等
		下段:決算額	
①	肥料価格高騰対策事業	11,000 3,295	化学肥料原料の価格高騰により、海外に依存している化学肥料の低減や堆肥等の国内資源の活用を取り組みを推進し、肥料コストへの支援を行った。農業経営への影響を緩和し、化学肥料の使用量の低減を図ることができた。
②	亀山サステナブル農業奨励事業	2,343 2,242	奨励事業対象法人に認証・奨励金の交付により、持続的に稼げる農業の展開を促進し、経営意欲の喚起と経営安定化に寄与することができた。経営開始資金については、継続の1名が受給し、新規就農者の定着に寄与できた。
②	ニホンザル等獣害対策事業	29,134 27,853	市民等に対し追払用火の配布や防護柵設置に対する補助、位置情報システムによるサルの出没情報を発信した。亀山C群はGPSによる行動域調査等を実施した。サル被害対策チームを組織し、捕獲や出前トークを通じて被害軽減に取り組んだ。
④	林業生産活動支援事業	11,259 11,259	林業の事業量の確保により、林業事業体の経営の安定化が図られた。また、利用間伐や間伐材の搬出等により、適切な森林整備が実施され、森林の持つ多面的機能の保持が図られた。
①	団体支援事業(生産調整対策事業)	10,746 10,746	今年度は3団体に補助金を交付することで、国が推進する戦略作物(麦、飼料用米)の集団転作の取組の推進や営農組織の持続的な運営の支援を行うことができた。
②	一般事業(農業振興事業)	8,875 6,727	認定農業者への農地の利用集積や営農組合の病害虫の共同防除事業への取組等の支援を行い、農業経営の安定化へ寄与することができた。
②	特産振興事業	1,490 1,088	出前授業や亀山茶カフェの実施、物産展に参加し、亀山茶のPR活動や販売を行い、生産者と消費者の交流活動を支援することができた。また、4年ぶりに青空お茶まつりが開催され、市内外の方が参加し茶業生産者との交流を図ることができた。
③	中山間地域活性化事業	350 350	貴重な地域資源を活かした活動や地域活性化に取り組む団体を支援することで、イベントなどを実施し地域内外の人々が交流することができた。
③	ふれあい農園管理事業	1,142 1,062	市民農園の利用者が栽培インストラクターの指導を受けながら気軽に農作物の栽培を通じて、健康増進、農業への理解の向上や利用者間・世代間等の交流を促進することができた。
④	一般事業(林業振興事業)	921 753	森林病虫獣鳥等による被害調査、治山事業に伴う対象地調査を実施し、森林の現状把握に努めた。また、森林組合などの林業関係諸団体の活動に補助金を交付し活動を支援することで、林業の振興を図ることができた。

太字:主要事業

■成果指標

指標			現状値		実績値				目標値
					R4	R5	R6	R7	
1	新規就農者数（累計）	人	—	—	2	3			4
2	農林産物の付加価値向上に取り組む事業者数	事業者	11	R2	11	11			15
3	中山間地域の活性化・魅力化につながる取組件数	件	1	R2	1	1			5
4	利用間伐施業面積	ha	55	R2	51.55	45.63			60
5									
6									
7									
8									

■市民アンケート調査

項目			現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1	農業・林業が盛んに行われている	重要度	0.77	0.89		
		満足度	▲ 0.17	▲ 0.36		
2		重要度				
		満足度				
3		重要度				
		満足度				
4		重要度				
		満足度				

■施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 農業経営体の育成・確保	次世代を担う農業者となることを志向する若者や女性など多様な新規就農者や集落営農組織等の育成・確保を図った。引き続き、農業経営体を支援していく。
② 農業経営の安定化	経営規模の拡大等を図る農業経営体への農地利用集積の推進や認定農業者の経済的支援を図った。引き続き、持続可能な農業経営を目指す。
③ 中山間地域の活性化・魅力化	農業生産条件が不利な中山間地域における農業生産活動を支援した。今後も魅力ある地域資源を活用した地域活性化策を進める。
④ 林業経営の安定化	林業事業体による林業施業の集約化や路網整備等の活動を支援した。今後も林業経営体の経営が安定するよう支援する。
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

農業経営体の育成・確保については、農業従事者の高齢化や後継者不足等の「人と農地の問題」を解決するため、亀山地区におけるアンケート調査を実施し、市内6地区で「地域計画」の地域での話し合いを行うことができた。また、持続可能かつ高付加価値な農業を行う経営体を亀山サステナブルファーマーとして5事業者を認証し、奨励金の交付を行った。亀山市経営開始資金については、新規就農者1名の継続受給に留まり、新規就農者の拡大は図れなかった。農業経営の安定化については、特産品の振興として、4年ぶりに青空お茶まつりを開催し、市内外から見学者が訪れ、亀山茶をアピールすることができた。さらに、豚熱や鳥インフルエンザなどの家畜伝染病対策として消毒用の消石灰の配布や豚熱ワクチン接種費用や肥料価格高騰による農業経営への影響緩和や持続可能な農業経営へ補助金を交付するなど農畜産業の経営の安定化の支援を行った。中山間地域の活性化・魅力化については、中山間地域活性化事業において1団体が補助金を活用、イベントを開催、市内外から見学者が訪れるなど盛況であったが、活用団体は1団体に留まった。林業経営の安定化については、市内林業事業体への支援により、森林整備計画で位置付けた生産林における利用間伐や間伐材の排出等、適切な森林整備が実施され、森林の持つ公益的機能の維持・発揮が図られた。さらに、林業の安定した事業量が確保されたことにより、林業事業体の経営の安定化につながった。獣害対策については、サル被害対策チームによるサルの行動域調査や捕獲、遭遇した際の対処法等の周知啓発に取り組んだことにより、亀山C群は群れの動きを予測した対策が可能となり、サルの捕獲数は前年度比で倍増した。

B

まずは進んだ

今後の展開方針

農業経営体の育成・確保と農業経営の安定化については、地域農業の維持・発展を図り、農業の担い手の育成・確保と農業経営の安定化を図るため、農畜産業への支援を継続して実施するとともに、地域での地域計画の協議を支援し地域計画の策定を進めていく。また、認定農業者や営農組織が持続的に経営が図れるよう、農地の集積や持続可能な農業経営の安定化や高付加価値農業の展開による稼げる農業への支援を進める。さらに、サルの出没情報の配信登録者数及び配信する群れの数を増やすとともに、未調査の群れについて行動域調査等を実施していく。中山間地域の活性化・魅力化については、今後も魅力ある地域資源を活用した地域活性化策を進めるため、活動団体への支援を継続して実施する。林業経営の安定化については、林業事業体の生産活動に対して引き続き支援を行い、林業生産活動支援事業を着実に進めることで、林業事業体の経営の安定化と適切な森林の管理につなげていく。